

製品名: ZNF397 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20263**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	ZNF397
別名	ZNF397; ZNF47; ZSCAN15; Zinc finger protein 397; Zinc finger and SCAN domain-containing protein 15; Zinc finger protein 47
遺伝子 ID	84307.0
SwissProt ID	Q8NF99
免疫原	抗血清はヒト ZNF397 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

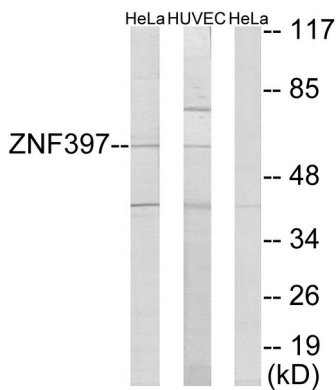
背景

ジンクフィンガータンパク質 397 (ZNF397) ホモサピエンス この遺伝子は N 末端に SCAN ドメインを持つタンパク質をコードし、

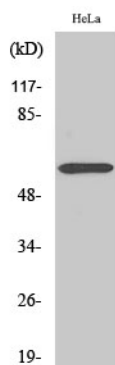
長いアイソフォームはC末端ドメインに9つのC2H2型ジンクフィンガーリピートを含む。このタンパク質は間期および前期初期にセントロメアに局在し、トランスフェクション研究において、異なるアイソフォームが転写を抑制または活性化する可能性がある。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されている。さらにバリエーションも報告されているが、その生物学的妥当性は未だ確立されていない。 [RefSeq 提供、2009年10月],機能: アイソフォーム3はDNA依存性転写抑制因子として作用する。 ,PTM: DNA損傷時にリン酸化される。おそらくATMまたはATRによる。 ,類似性: krueppel C2H2型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属する。 ,類似性: 1つのSCANボックスドメインを含む。 ,類似性: 9つのC2H2型ジンクフィンガーを含む。 ,サブユニット: アイソフォーム1と3は、ホモ会合およびヘテロ会合の両方が可能である。アイソフォーム1のホモ会合はSCANドメインの存在に依存する。 ,組織特異性: 精巣で強く、骨格筋、膵臓、前立腺で中等度に、心臓、胎盤、肝臓、腎臓、脾臓、胸腺、小腸で弱く発現する。 ,

研究分野

画像データ



ZNF397抗体を用いたHeLa細胞およびHUVEC細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ZNF397ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。